

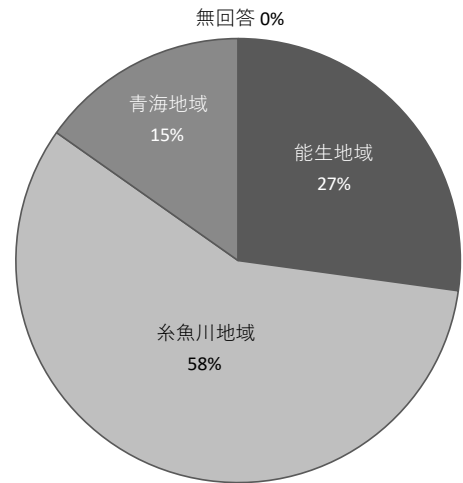
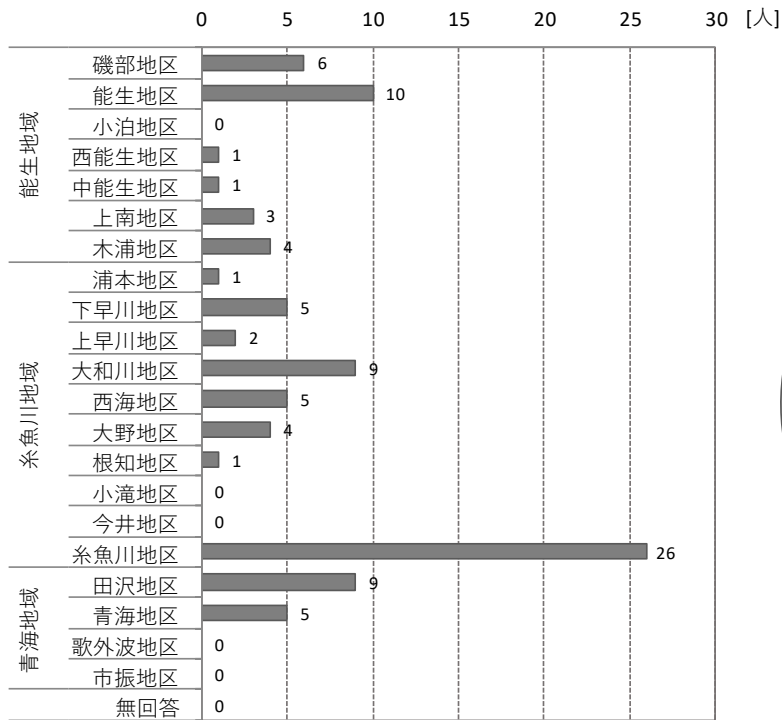
高校生アンケートの調査結果

1. 調査の概要

1) 調査の対象、配布部数

	内容
調査対象	市内の高等学校3校の生徒
配布部数	92部（回収率100%）

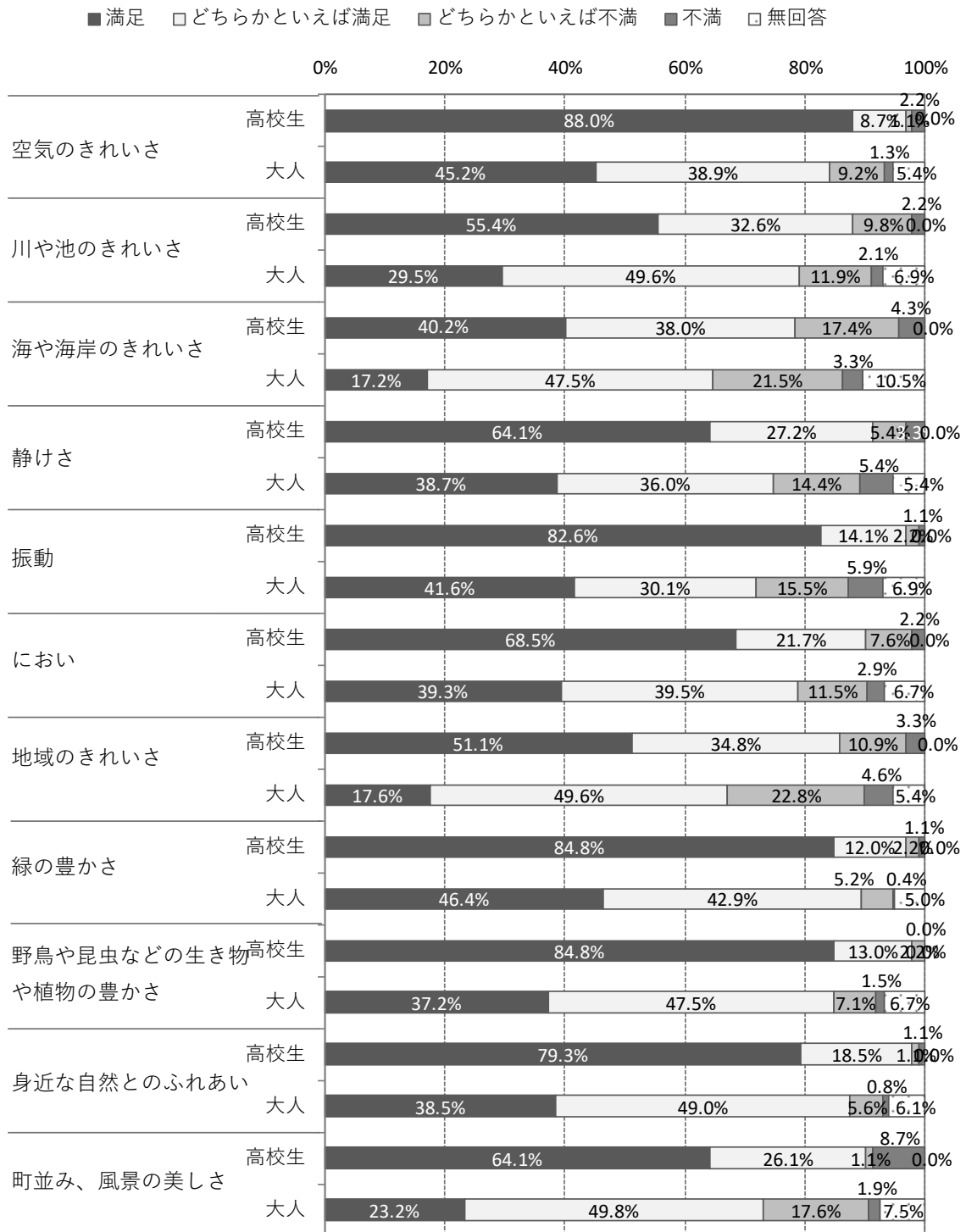
2) 居住地域



3. 調査結果

問2 お住まいの地域の環境について（選択回答）（市民アンケートとの比較）

高校生アンケートと市民アンケートの結果を比較すると、「満足」と「どちらかといえば満足」を合計した割合について、すべての項目で高校生の方が高くなりました。高校生は「空気のきれいさ」、「静けさ」、「振動」、「におい」、「緑の豊かさ」、「野鳥や昆虫などの生き物や植物の豊かさ」、「身近な自然とのふれあい」、「町並み、風景の美しさ」に対して9割以上が満足しています。



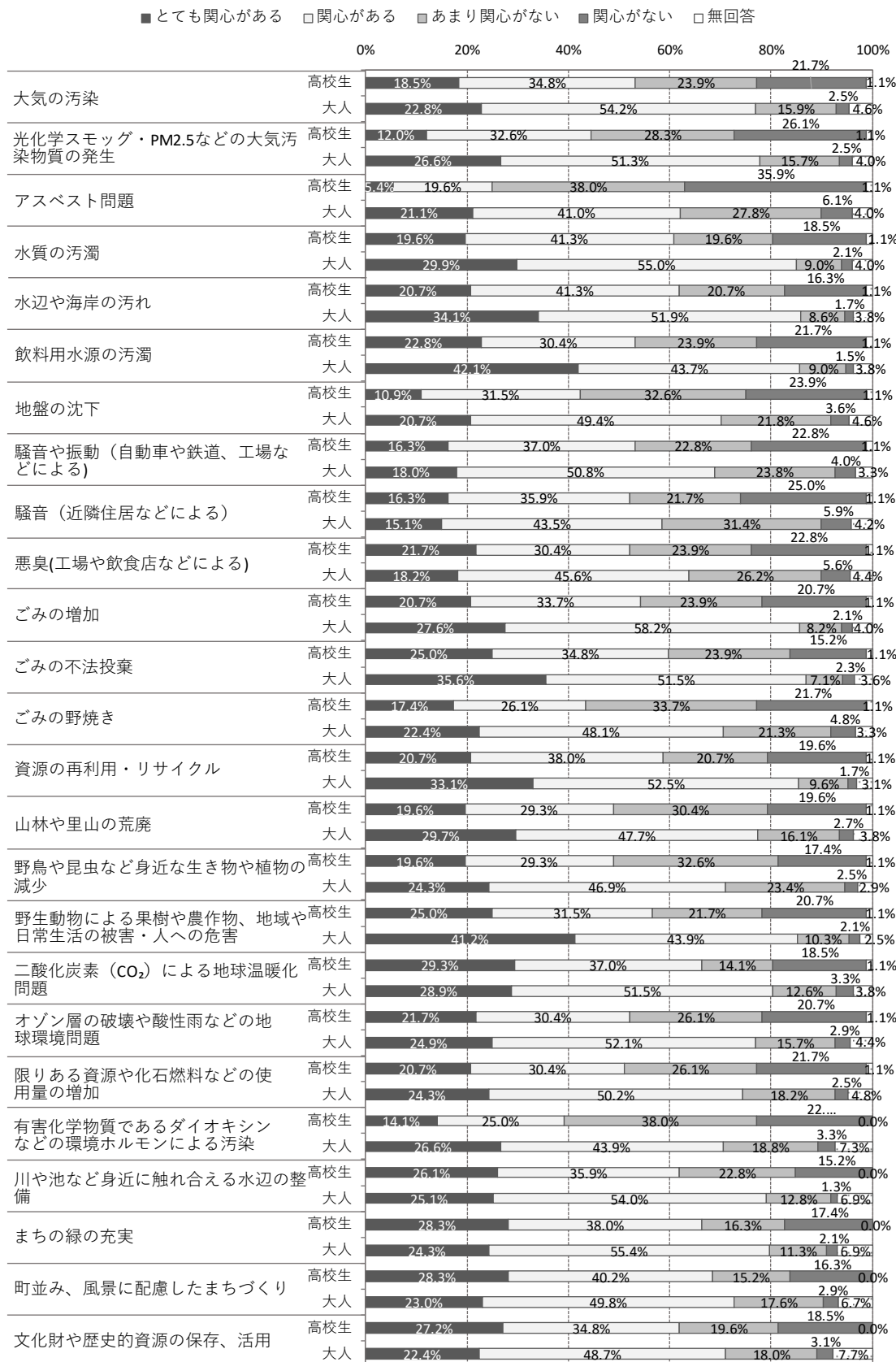
問3 大切にしたい糸魚川の自然や風景、文化財や歴史的資源（自由記入）

「塩の道」が最も多く、次いで「海」、「弁天岩」、「木、森林、山等」等になりました。

項目	回答数	項目	回答数
塩の道	18	神道山	3
海	7	姫川	3
弁天岩	6	ジオパーク	2
木、森林、山等	6	スキー場	2
田海ヶ池	5	地層	2
ヒスイ、ヒスイ峡	5	月不見の池	2
川	4	八十八ヶ所	2
焼山	3	不動滝	2
白山神社	3		
合計			75

問4 環境問題に対する関心度について（選択回答）

高校生アンケートと市民アンケートの結果を比較すると、「とても関心がある」と「関心がある」を合計した割合について、すべての項目で高校生の方が低くなりました。特に、大気や水質の汚染、ごみの問題、資源の再利用・リサイクル、地球温暖化に関する項目で高校生の関心が低くなっています。



問5 将来までには解決したい糸魚川市の環境問題について（自由記入）

「ポイ捨て・不法投棄」が突出して多く、次いで「少子高齢化・人口減少」や「交通機関の整備、山道の整備」となりました。

内容	回答数
ポイ捨て・不法投棄	39
少子高齢化、人口減少	7
交通機関の整備、山道の整備	4
海の濁り、川の水質汚濁	2

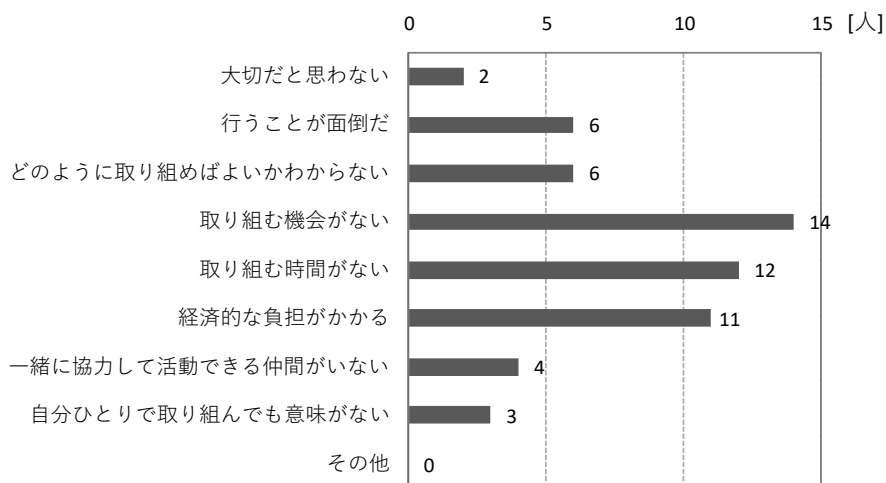
問6 環境にやさしい取り組みの実施度について（選択回答）

高校生アンケートと市民アンケートの結果を比較すると、「している」「ときどきしている」を合計した割合は、「買い物には、マイバックを持参している」や「美化・清掃活動に参加している」といった資源循環に係る項目は市民アンケートの方が高く、「観察会や講演会など、環境を学んだり、体験する機会に積極的に参加している。」等の自然とのふれあいに係る項目は高校生の方が高くなりました。



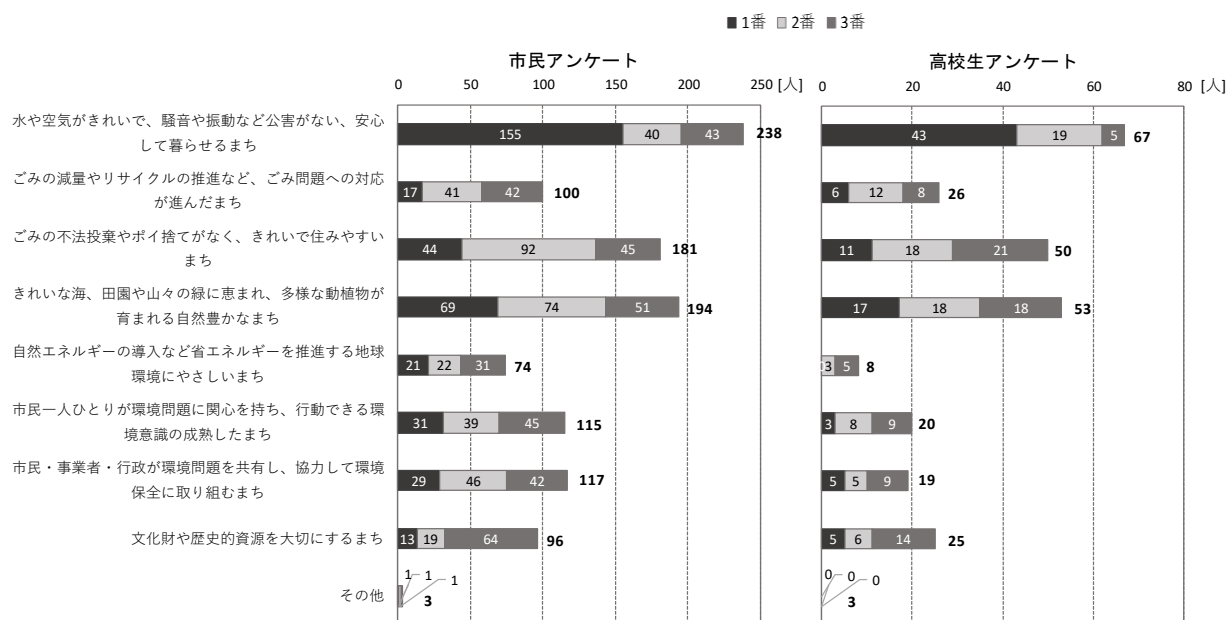
問7 環境にやさしい取り組みについて「今後も出来ない」と回答した理由（複数回答）

問6で1つでも「今後も出来ない」と回答した人の中で、出来ない理由として「取り組む機会がない」が14人と最も多く、次いで「取り組む時間がない」が12人、「経済的負担がかかる」が11人となりました。



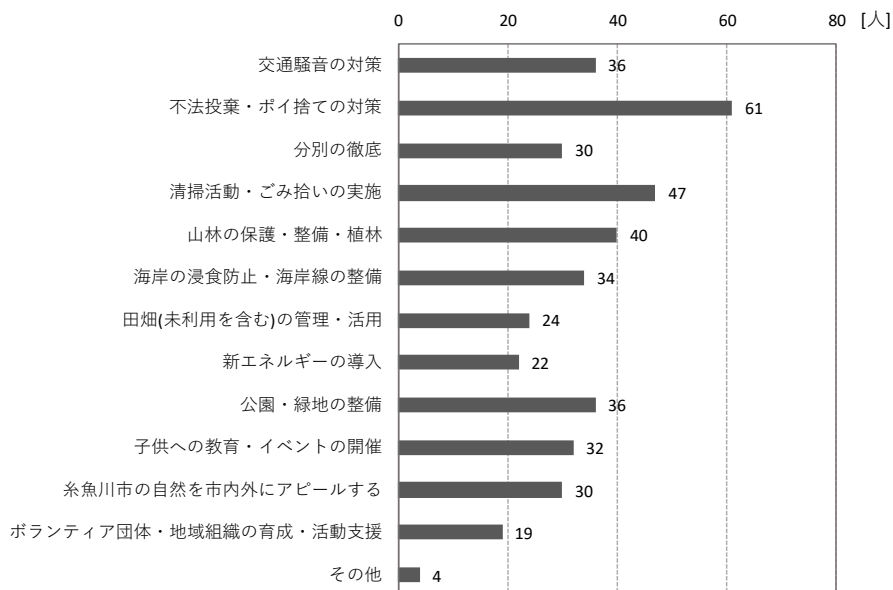
問8 望ましい環境の優先度（順位付け選択回答）

望ましい環境の優先度は、市民アンケートと高校生アンケートのいずれも「水や空気がきれいで、騒音や振動など公害がない、安心して暮らせるまち」と回答した人が最も多く、1番にした割合も高くなりました。一方で、「自然エネルギーの導入など省エネルギーを推進する地球環境にやさしいまち」と回答した人が両アンケートともに最も少なくなりました。



問9 望ましい環境像の実現に必要なもの（複数回答）

望ましい環境像の実現に必要なものは、「不法投棄・ポイ捨ての対策」が61人と最も多く、次いで「清掃活動・ごみ拾いの実施」となりました。



問10 環境保全について行政に望むこと（自由記入）

環境保全について行政に対して、ポイ捨てや不法投棄への対策や環境保全活動の推進等が望まれています。

内容
きれいな町だが、よく見るとゴミがある。人の心を変えれば、町もキレイになる。改善求む。
不法投棄されたゴミを回収する作業を市民で行えるような活動を計画してほしい。
ポイ捨てへの対策など
自然を整備するボランティア活動をもっと行って、市の人に参加してもらおうように呼びかけたほうが良いと思う。日本でも有数の世界ジオパークを大切にしてほしい。
地域の人々とともに環境保全活動に努める。
もっと空気を大切にしてほしい